

令和4年度学校評価書

令和5年3月
北海道滝川高等学校 定時制

1 本年度の重点目標

わかる喜び、学ぶ楽しさを持たせる授業、他者を思いやり助け合える集団づくりを目指す生徒指導、遅しく健やかな健康安全指導が三位一体となった教育活動の推進

(1) 主体的に学ぶ意欲と態度を育て、生徒一人ひとりを尊重し多様な学習能力を育成する
 (2) 規範意識を醸成し基本的生活習慣の確立を図り、豊かな人間性・社会性を育成する
 (3) 人生観や職業観、及び自己実現を図る能力の育成に資するキャリア教育を推進する
 (4) 自他の生命を尊重し、自発的に健康・安全や環境美化に努める能力を育成する

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
総務	- 各分掌長や担当者と連絡を取り合いながら概ね円滑に業務を進めることができた。全日制との連絡調整については、総務部を中心としてより綿密に行う。 - 学校ホームページは、昨年度リニューアルを行い見やすく使いやすくなった。運用について工夫改善を図りたい。	学校ホームページは、生徒や保護者、中学生等の受験生や地域にとっても学校の教育内容等を知る上で大切な情報源となることから、最新の情報を更新されるよう努めて欲しい。
改善方策	- 協働体制の確立と情報の共有を図り、より一層円滑な学校運営に努める。 - 学校ホームページの運用について見直しを図り、PRに繋がるよう情報発信に努める。	
学習指導	- 教育課程の改善等に向け、次年度以降の教育課程の検討、評価やリニューアルされた校務支援システム等について研修を実施し対応について理解を深めた。 - 基礎学力プリントは、家庭学習の習慣化等に効果的であるので継続していきたい。	- 基礎学力プリントは、一定の成果を上げていると評価する。 - ICTの活用については、令和4年度の検証を踏まえ、令和5年度は更に充実するよう期待する。
改善方策	- 主体的対話的で深い学びや個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業改善を図るため、研修の充実に努める。 - ICTの活用について、指導方法や環境整備など円滑な活用に向けた改善に継続して取り組む。	
生徒指導	- 保健教室など各種教室を通じて、基本的な生活習慣の確立、社会性の育成に努めた。 - スクールカウンセラーや滝川市、特別支援学校など関係各機関との連携に努めた。	スクールカウンセラーや滝川市、特別支援学校等の連携を維持し、より良い生徒指導に努めて欲しい。
改善方策	- 外部講師や各種教室等などを活用し、健全育成や社会性の育成に努める。 - 関係機関との良好な関係性を継続し、生徒指導に活かす。	
進路指導	- 教育局など関係機関の指導プログラムを活用し、自己理解や意欲の向上を図った。 - キャリアパスポートの活用について、継続した取組になるよう工夫改善を図る。	インターンシップについては、有効な制度であると思われるので、有効活用を期待する。
改善方策	- キャリアパスポートの活用について、継続した取組となるよう改善を図る。 - インターンシップについては、随時対応できる体制を整えておく。	
公表方法	学校だよりやWebページに掲載するとともに、学校評議員会、PTA役員会等で口頭にて説明する。	